



秩父地域の 農林業の概要



埼玉県マスコット「さいたまっち」「コバトン」

令和6年9月

埼玉県秩父農林振興センター

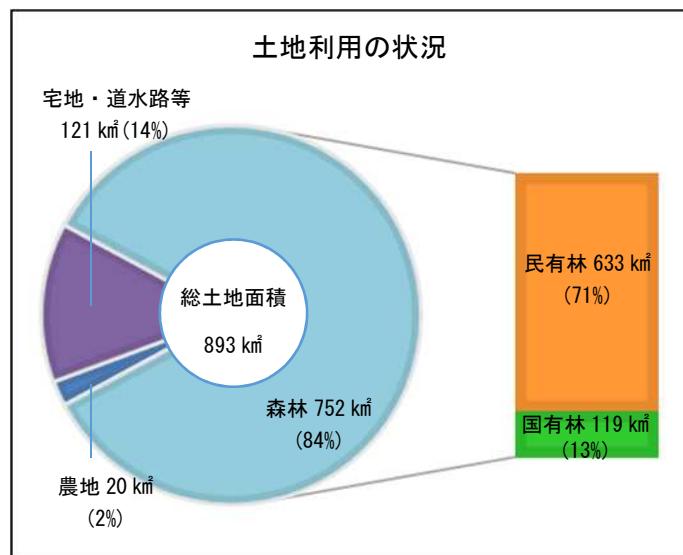
1 地域の概要

秩父地域は、都心から 60～100 km の県西部に位置し、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の 1 市 4 町からなっています。

総面積は約 893 km²（県土の約 24%）であり、そのうち森林が約 84%（752 km²）を占め、農地は約 2%（20 km²）となっています。

秩父地域は、養蚕、繊維、林産、セメント工業などの地場産業を中心でしたが、近年は、豊かな自然や歴史・文化などを生かした観光産業や先端技術を活用した電子部品や精密機械といったハイテク産業などが盛んです。

農林業については、気候風土や中山間地域の特徴を生かしたきゅうり、なす、いちご、そば、こんにゃく、しいたけなど、バラエティーに富んだ農林産物が生産されるとともに、観光産業と連携した直売やつみとり体験など、来訪者との交流を通じた観光農林業が展開されています。



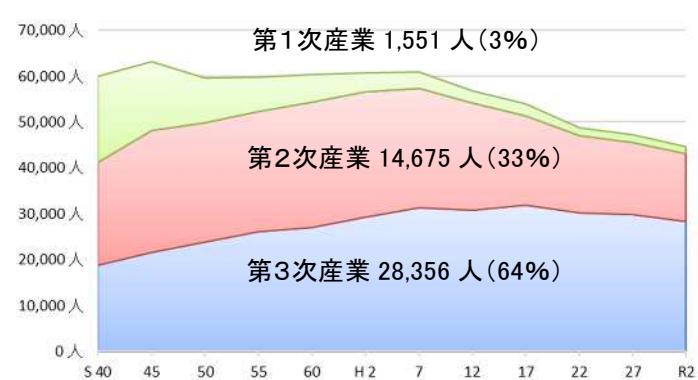
秩父地域は、東京都、山梨県、長野県、群馬県に隣接しています。

2 主要指標等

(1) 主要指標

項目	秩父地域 ※気温・降水量は 秩父市	全県 ※気温・降水量は さいたま市
土地面積	893 km ²	3,798 km ²
総人口	88,748 人	7,326,804 人
総世帯数	36,841 世帯	3,297,455 世帯
平均年齢	52.4 歳	47.4 歳
総生産	3,040 億円	23兆7,336 億円
1人当たり所得	239 万円	305 万円
平均気温(平年値)	13.5 °C	15.2 °C
年降水量	1,375.3 mm	1,371.3 mm

(2) 産業別就業者数



(埼玉県推計人口、町字別人口調査、埼玉県市町村民経済計算、気象庁)

(国勢調査)

(3) 秩父地域農林業の主要指標（四捨五入により合計と内訳の計が一致しないことがあります）

ア 農業

項目		単位	秩父地域	埼玉県	県内シェア	出所
農家	総農家	戸	2,885 (100)	46,463 (100)	6.2%	2020農林業センサス
	販売農家		560 (19)	27,588 (59)	2.0%	
	自給的農家		2,325 (81)	18,875 (41)	12.3%	
	農業従事者数		1,235 (100)	65,073 (100)	1.9%	
	基幹的農業従事者数		734 (59)	37,683 (58)	1.9%	
	主業農家		91 (16)	4,607 (17)	2.0%	
	副業農家		38 (7)	4,493 (16)	0.8%	
	別業農家		443 (77)	18,696 (67)	2.4%	
	新規就農者数(令和5年度)		17	330	5.2%	R5秩父農林振興センター調べ
耕地	認定農業者数	人	149	4,985	3.0%	
	耕地面積(令和5年)	ha	1,971 (100)	73,000 (100)	2.7%	農林水産省R5作物統計調査
	田		246 (12)	40,700 (56)	0.6%	
	畠		1,722 (87)	32,200 (44)	5.3%	
	1戸あたり耕地面積		0.68	1.57	-	
農業生産	荒廃農地面積(R4年度)	億円	780	3,320	23.5%	R4埼玉県調べ
	農業生産額		26.1 (100)	1,542 (100)	1.7%	農林水産省R4生産農業所得統計
	米		1.0 (4)	266 (17)	0.4%	
	野菜		13.2 (51)	741 (48)	1.8%	
	果樹		3.6 (14)	50 (3)	7.2%	
	花き		0.5 (2)	160 (10)	0.3%	
	畜産		6.4 (25)	261 (17)	2.5%	
	うち乳用牛		4.8 (18)	64 (4)	7.5%	
	その他		1.4 (5)	64 (4)	2.2%	

イ 林業

項目		単位	秩父地域	埼玉県	県内シェア	出所
林業経営体	林業経営体	経営体	18	37	48.6%	林業事業体台帳(R6.7.31)
	法人化している経営体		18	36	50.0%	
	個人経営体など		0	1	0.0%	
林業就業者	人	人	173	472	36.7%	R2国勢調査
森林面積	森林面積	ha	75,171 (100)	119,228 (100)	63.0%	R4.12埼玉地域森林計画書
	所有別		11,890 (16)	12,326 (10)	96.5%	
	国有林		63,281 (84)	106,901 (90)	59.2%	
	民有林		6,687 (9)	7,623 (6)	87.7%	
	うち県営林		30,120 (40)	56,976 (48)	52.9%	
	人工林		32,428 (43)	48,195 (40)	67.3%	
	天然林		733 (1)	1,730 (1)	42.4%	
特用林産	きのこ産出量	t	2,136 (100)	3,470 (100)	61.6%	R4秩父農林振興センター調べ
	しいたけ		348 (16)	661 (19)	52.6%	
	えのきたけ		1,360 (64)	1,360 (39)	100.0%	
	その他		428 (20)	1,449 (42)	29.5%	

(4) その他の関連指標

項目		単位	秩父地域	埼玉県	県内シェア	出所
特別栽培農産物	認証農家数	戸	33	1,517	2.2%	R5年度
	認証面積	ha	5.8	1,058	0.5%	
みどり認定	認定者数	戸	1	25	4.0%	
S-GAP実践農場数	※埼玉県独自のGAP	農場	46	870	5.3%	R5年度
有人農林産物直売所	設置数	か所	16	271	5.9%	R4年度
	販売金額	億円	17.0	285	6.0%	
みどりの学校ファーム	35		1,211	2.9%		
	小学生	校	23	798	2.9%	R5年度
	中学校		12	413	2.9%	

3 農業の概要

(1) 水稻



埼玉県育成品種「彩のきずな」の作付が約半数を占めます。

食味を重視した品種構成が定着しており、ほとんどが地元で消費されています。

・作付面積 128ha 収穫量 556t(R5)

(3) なす



当地域のほぼ全域で生産されており、JAちちぶによる一元出荷体制も整備されています。品種(千両2号)、作型に加え、施肥、防除技術の統一化が図られており、市場から高い評価を得ています。

・作付面積約 1.0ha 出荷量約 44t(R5)

(2) きゅうり



小鹿野町を中心に産地が形成されており、「秩父きゅうり」のブランドで市場から高い評価を得ています。

新規就農者の育成に力を入れており、近年、生産量が増加に転じています。

・施設面積約 50,000 m² 収穫量約 776t(R5)
栽培農家 33 戸

(4) いちご



品種は、県育成品種「あまいん」、「かおりん」に、「やよいひめ」、「とちおとめ」、「紅ほっぺ」など約 10 品種です。

12月下旬～6月中旬まで、長期にいちご狩りが可能なことも特徴です。

清潔感などのイメージアップやバリアフリーへの対応から「高設栽培」も導入されており、顧客満足度の向上に向けた施設整備、ニーズを踏まえた品種導入などに努めています。

・作付面積約 7.4ha 栽培農家 32 戸 (R5)
うち観光農園 24 戸

(5) ぶどう



ぶどう生産農家は46戸で、ほぼ全戸が観光農園、直売を行っています。

品種は、「巨峰」や「シャインマスカット」のほか、秩父オリジナルの「ちちぶ山ルビー」(写真)の人気が高まっています。

・作付面積約25ha 収穫量約250t(R5)

(6) ブルーベリー



観光つみどり品目として栽培が行われ、ジャムやジュースなどの加工品の生産・販売も行われています。

秩父市吉田地区の「秩父フルーツ街道」沿いでは、集団でブルーベリーの栽培に取り組んでいます。

・作付面積約5ha 収穫量約7t(R5)

(7) そば



遊休農地の活用、桑園跡地の利用、水田転作等により、各地で栽培されています。特に、秩父市荒川地区では、地域をあげて「そばの里づくり」に取り組んでいます。

・作付面積約31ha 収穫量約11t(R5)

(8) しゃくし菜



秩父の代表的な漬物である「しゃくしな漬け」の原料として小鹿野町、皆野町を中心に栽培が行われています。

漬物は独特の歯ざわりが特徴で、お土産として人気があります。

・作付面積約4ha 出荷量約12t(R5)

(9) お茶



急峻な地形でも栽培ができることに加え、獣害を受けにくいという特性から、中山間地の特産作物として昭和30年代から導入されました。

秩父地域のほぼ全域で栽培され、地域の気象を生かし、特別栽培農産物の取組が行われています。

近年、2番茶を利用した紅茶加工やハーブティーなど新商品開発が行われ、好評を博しています。

(11) 養蚕



養蚕農家数は年々減少し、現在では秩父地域の絹産業文化の伝承としての意味合いが強くなっています。

・飼養戸数 2戸 収穫量約 1.0t(R5)

(10) こんにゃく



地元の加工業者に引き取られ、「秩父こんにゃく」として販売されるほか、生産者自らが加工したこんにゃくが、農産物直売所などで販売されています。

・作付面積約 4.2ha 出荷量約 38t(R5)

(12) 畜産



飼養者の高齢化、後継者不足や飼養環境の変化等から、飼養戸数・飼養頭羽数は減少しています。

こうしたなかで、子取りを目的とした繁殖和牛農家やこだわりの鶏卵を生産する農家など特徴ある畜産経営が営まれています。

・飼養戸数(R6)

酪農 10戸、肉用牛 8戸、養豚2戸、養鶏 3戸

(13) カボス



秩父市、小鹿野町を中心に、「秩父カボス」として量販店での販売、直売に取り組んでいます。

黄色く熟した果実は「秩父黄金カボス」として販売され、地元の飲食店や菓子店などで活用され好評を得ています。

・作付面積約 1.5ha 栽培農家 34 戸 (R5)

(14) エゴマ



企業の農業参入等により、平成 23 年から秩父市や小鹿野町でエゴマの栽培が行われています。

作付面積は約 7ha で、エゴマを使った食用油や味噌などが商品化され、新たな特産物として注目されています。

【 地域の取組① 】



SL車内での試食



里山まるマルシェでのPR

秩父地域の農産物の魅力を広めて新たな顧客を獲得するため、県、市町、農業関係団体、農業者等が一体となって、PRキャンペーンに取り組んでいます。

SL車内でのいちご・ぶどう・ブルーベリーの試食や、各種イベントにおける農産物のPRなど、精力的に活動しています。

(15) 県営土地改良事業



ため池整備(弁天池地区)

県営土地改良事業は、県が事業主体となって行う事業で、団体営土地改良事業より受益面積の大きな地区を対象としています。

当センターでは、老朽化した農業用水利施設の長寿命化対策やため池の耐震対策工事、担い手への農地集積を図るため畠地のほ場整備事業などを実施しています。

(17) 県費単独土地改良事業



農道整備(寺坂地区)

秩父地域等の中山間地域において、県費単独土地改良事業は、1ha以上の農用地区域を受益面積とする地区に、事業費の33%を補助金として、市町や土地改良区に交付しています。

用水路や排水路の通水機能が低下している水路の改修や、道路幅が狭くて通行しにくい農道の整備等、幅広く活用できる補助金となっています。

(16) 団体営土地改良事業



農業集落排水施設(秩父市太田上地区)

団体営土地改良事業は、国・県からの補助金により、市町や土地改良区が事業主体となって行う事業です。

管内では、農業集落排水施設の施設更新のための機能強化事業や防災重点ため池の耐震・豪雨調査を実施しています。

(18) 多面的機能支払



獣害ネット点検(芦ヶ久保環境を守る会)

農業・農村は、水源の涵養や自然環境の保全など豊な多面的機能を有しております、農村地域の共同活動により維持されてきました。

しかし農村の過疎化や農家の高齢化により、共同活動が困難な状況になりつつあるため、地域で実施している農地や水路等の保全活動に対して支援を行っています。

4 林業の概要

(1) 森づくり



森林には水を蓄える水源涵養機能や土壤を安定させ災害を防ぐ土砂災害防止機能、土壤保全機能などの公益的機能があります。

これらの機能を持続的に発揮していくためには、適切な手入れを行うことが必要です。

当センターでは、森林の健全な育成・整備のため、植栽や間伐などを支援しています。

(3) 木材利用



小鹿野町役場

秩父地域で生産される木材の活用を図るため、加工流通施設等の整備や、公共施設の木造化・木質化を支援しています。

さらに、県産木材を使った新築住宅等への支援を行っています。

また、イベント等様々な機会をとらえ、秩父材のPRや普及を行っています。

(2) 森林の獣害対策



シカ侵入防止柵

皆伐跡地等の植栽地において、ニホンジカによる食害が発生し、一部では下層植生の消失が進行しています。

また、奥地の水源地域の森林では、ツキノワグマやニホンジカによる樹皮剥ぎの被害が拡大しています。

森林の荒廃を防ぐため、当センターでは獣害対策として、シカ侵入防止柵の設置などを進めています。

(4) 森林の病害虫対策（ナラ枯れ対策）



ナラ枯れ防除対策研修会

令和元年度にカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が県南地域で初めて確認されました。以降、被害が拡大し、秩父地域でも、ミズナラ、コナラを中心に山間部にも被害が及んでいます。当センターでは、市町村等と連携して、ナラ枯れ被害の情報収集体制の確立を進めるとともに、防除技術の研修等の普及啓発を行っています。

(5) 森林ボランティア、森林・林業教育



企業の森での活動(皆野町)

森林づくり活動を行う、企業・団体(管内20団体)と活動場所を提供する森林所有者等、県の3者で「彩の国森林づくり協定」を締結し、森林づくりを推進しています。

地域で活動する森林ボランティア団体に対して、道具購入や安全講習に係る費用について、補助しています。

また、学校、地域等で森林・林業についての理解を深めてもらうため、県政出前講座や実習も行っています。

(7) 森林管理道事業



伐採搬出が進む森林管理道西秩父線沿線(小鹿野町)

森林管理道(林道)は、林産物の運搬や植林、伐採、森林管理などのために作られた道です。

管内の森林管理道は、令和4年度末現在で177路線 432kmです。

急峻な山間部が多い、秩父地域の特性を踏まえつつ、森林管理道の整備と管理を行っています。

(6) 治山事業



田の沢山村生活安全対策工事(秩父市)

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から県民の生命・財産を守るとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る事業です。

治山ダムや土留工等の設置による荒廃渓流・崩壊山腹の復旧整備・予防対策などをを行い、森林の持つ公益的機能の発揮に取り組んでいます。

(8) 森林経営管理への支援



集約化実施計画の地元説明会(小鹿野町)

零細な所有形態や木材価格の長期低迷により、森林所有者自らが林業経営を行うことは困難となっています。

一方、森林の公益的機能を維持増進させるためには、適切な森林管理を継続的に行っていく必要があります。

そのため、林業事業体等による森林経営計画の策定や市町村による森林経営管理権の設定など、面的な集約化による効率的かつ持続的な森林管理を行う取組に対し、助言や人材育成を行っています。

(9) 特用林産



秩父産原木しいたけ

秩父地域は昔からしいたけ栽培が盛んで、「秩父しいたけ」として有名です。しいたけ栽培は里山の広葉樹を循環利用するため、里山の環境・景観維持にも役立っています。生産者が高齢化しており、後継者の育成が課題です。

その他特用林産物として、えのきたけ、ぶなしめじ、ひらたけ、まいたけ、なめこ、木炭などが生産されています。

(10) 特用林産の新たな展開



秩父産メープルシロップを使った製品

秩父産の樹液やカエデの葉を利用した飲料・菓子類の商品開発と販路拡大の取組が進んでいます。

林業関係者と商工業者が連携し、地域の内外に広く呼びかけて、資源充実のためのカエデの植栽活動が実施されています。

多様性に富んだ森林づくりと地域おこしを兼ね備えた取組として、全国的な注目を集めています。

【 地域の取組② 】



「苗木のスクールステイ」活動(秩父市日野田保育所)



第75回全国植樹祭シンボルマーク

【全国植樹祭】令和7年5月 25 日(日)に第75回全国植樹祭が秩父ミューズパーク(秩父市、小鹿野町)を式典会場として開催されます。センターでは、大会の成功に向けて、「苗木のスクールステイ」活動や「第75回全国植樹祭応援事業」の協力など機運醸成を図っています。

秩父農林振興センターの組織と業務内容

部	担当名	主な業務内容
管理部	総務担当	総務、経理、予算、庁舎管理、表彰事務
	地域支援担当	広聴広報、食品表示、農地中間管理事業、特別栽培農産物、GAP、農産物生産振興、農業制度資金、地産地消、食の安全安心、経営所得安定対策、中山間地域対策
	管理・農地担当	農地法、農振法、農業委員会、卸売市場、遊休農地対策
農業支援部	新規就農・法人化担当	新規就農・農業法人化・6次産業化の支援
	技術普及担当	農作物の栽培技術・農業経営支援、農業災害対応、鳥獣害対策
農村整備部	整備支援・管理担当	土地改良法、団体営土地改良事業、県費単独土地改良事業、多面的機能支払交付金、災害復旧事業、土地改良事業調査
	県営事業担当	県営かんがい排水事業、県営ほ場整備事業、県営農地防災事業
林業部	森林循環・木材利用推進担当	森林整備の推進、県産木材の利用推進、木質バイオマスの利用推進、林業種苗
	森林保全・県営林担当	県営林の管理、林地開発許可、保安林の管理、都市と山村交流施設の管理、林野火災、森林保険
	林業支援担当	森林法、森林環境税、森林経営管理制度、森林計画、林業普及指導、林業後継者、林業労働力、林業機械、森林・林業教育、森林ボランティア、森林組合、特用林産、林業関係資金、森林病虫害・鳥獣害被害対策
	治山・森林管理道担当	治山・森林管理道事業の調査・計画、治山施設・森林管理道の工事・維持管理・災害復旧、保安施設地区の管理、山地災害防止、地すべり防止区域の管理
	工事管理・事業調整担当	工事の管理・安全管理対策、工事の検査・監督、森林土木技術の改善・向上

埼玉県秩父農林振興センター

〒368-0034 埼玉県秩父市日野田町1-1-44

TEL 0494-24-7211

E-mail t247211@pref.saitama.lg.jp (代表)

